

報告事項 2（周知・報告）

大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和6年度実施対象校である大正白稜高校及び福泉高校の特色ある取組み等の継承について

標記について、別紙の通り報告する。

令和7年2月14日

大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和6年度実施対象校
である大正白稜高校及び福泉高校の特色ある取組み等の継承について

令和7年2月14日

大阪府教育委員会

1 大正白稜高校から継承する特色ある取組み内容

・リーディングスキルの学びを継承

大正白稜高校が実践してきた生徒一人ひとりにあわせて、学習の基礎となる読解力・課題解決力を育むリーディングスキルの学びのノウハウについて、全府立高校の教員が参加できる研修会や公開授業、教材等を通じて広く共有化を図り、各校での取組みに活用する。

・キャリア教育等の継承

大正白稜高校が開校以来注力してきた、キャリア教育や生徒の居場所づくりの取組みを、東住吉総合高校（平野区）へ継承し、同校の教育相談環境の拡充整備を図る。

東住吉総合高校は、平成 17 年に多部制単位制（クリエイティブスクール）として開校。平成 24 年には全日制総合学科（クリエイティブスクール）に改編し、その特長を生かし、6つの系列の体系的なカリキュラムや地元企業と連携したキャリア教育を通じて、生徒の多様な進路ニーズに応えている。また、平野区の「ひらの青春生活応援事業」との連携をはじめとして、生徒に寄り添った支援を行っている。

2 福泉高校から継承する特色ある取組み内容

・校内農園を通じた体験的学習や地域交流の継承

福泉高校が実践してきた校内農園を利用した体験的学習について、そのノウハウや機器を信太高校（和泉市）に継承し、同校が取り組む「信太ファーム」を拡充整備するとともに、同ファームの活用を通じて、共生推進教室の生徒と普通科の生徒や地域の方々と交流する機会を設けるなど、ともに学び、ともに育つ教育を充実させる。また、福泉高校が地域の法人等の協力により取り組んできた交流活動について、堺西高校（堺市南区）に継承し、地域交流を通じた生徒の活動等、自己肯定感を高める活動を一層推進する。

信太高校は、昭和 58 年に普通科として和泉市に開校。平成 26 年には府立すながわ高等支援学校の共生推進教室の設置校となり、知的障がいのある生徒が高等学校で学び両校の生徒が交友を通じて、ともに学びともに育つ教育を行っている。共生推進教室の生徒の授業においては、校内農園の「信太ファーム」を活用した体験的学習を行っている。

堺西高校は、堺市立堺女子手芸学校として明治 40 年に開校し、昭和 54 年に大阪府立堺西高等学校として大阪府に移管された。高い自己肯定感と多様な価値観を認めることができるしなやかさをあわせ持つ「人間力」を養うため、生徒の主体的・対話的な活動を支援するとともに、他者との協働的な取組みを実践している。

令和6年11月11日教育委員会会議 決定事項

1 令和6年度の方針

令和6年度は、募集停止及び普通教育を主とする学科における改編に着手する。

2 募集停止する学校

対象校 (所在地)	募集停止時期
<small>たいしょうはくりょう</small> 大正白稜高校 (大阪市大正区)	令和8年度 入学者募集時
<small>ふくいずみ</small> 福泉高校 (堺市西区)	令和8年度 入学者募集時